

無事に修学旅行から帰ってきました②

裏面では、2日目の様子の一部をご紹介します。

【2日目】・・平和公園・原爆資料館・県庁・海きらら
早めの就寝だったため、朝は全員が元気に起きることができました。昨日の夕食から約12時間が経っており、しっかりと朝食も食べることができました。

朝から路面電車の走る国道を走り、平和公園をめざしました。全校児童で作った千羽鶴を献鶴し、ミニ平和集会を行い、記念撮影を行いました。その後祈念像の意味についてや平和の泉などの説明を聞きながら公園内を歩きました。

原爆落下地点を通り、原爆資料館へ移動し、原爆の恐ろしさを伝える熱線で溶けた鉄やガラス、投下時刻で止まった柱時計、語り部の方のVTRなどを見学しました。当時の惨状を今に伝える展示品を見ながら、平和のありがたさについて考えさせられました。

その後、新しくできた県庁へ行き、8階展望所で、長崎市を一望しました。船の出入りで活気ある港や、世界遺産指定の大きなクレーンのある造船所、反対側では、進行形で徐々に形ができてつつある長崎新幹線のホームや高架などを見ました。子どもたちが大人になる頃には、かなり違った風景となることでしょう。

道行く人やほかの修学旅行の子に手を振りながら長崎市内に別れを告げ、出島インターから高速に乗り、一気に佐世保をめざしました。

鹿子前の海きららには、予定より早く着き、お土産を買ったり、水族館で珍しい海の生き物を見たりしました。子どもたちも楽しみにしていたイルカショーを、水しぶきをよけながらかわいいイルカたちの妙技に見入りました。

フェリー出航30分前には、無事に平戸桟橋へ着き、運転手さんにお礼の言葉をみんなで言いました。

全身消毒をした後で、乗りなれたフェリーに乗船しました。的山港では、お迎えに来た保護者を見て、ほっとした表情を見せながら、フェリーを降りていました。ターミナル横で、2日間を振り返って解散式を行い、修学旅行のすべての日程が終わりました。

天候にも恵まれ、初めて見るもの聞くものが多く、思い出に残り、新たな発見・気づきにあふれた修学旅行でした。コロナ禍の中で実施のため、共通クーポン券の利用など、めったにできない経験も多かった今回の旅行でした。この経験は、必ずしや子どもたちの成長へつながっていくものと思います。また、この2日間のことは、かけがえのない思い出として、いつまでも子どもたちの心に残ることでしょう。

旅行への準備から、初日朝と到着時の送迎を含め、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。どうも、ありがとうございました。

